

前号では、矢川保育園の民営化に際して、移管先の社会福祉事業団の設立手順や移管までの園舎建設等のスケジュールについてお伝えし、保護者の皆様からのご意見を募集しました。民営化について、保護者の方々よりご意見をいただきましたので、今号ではご意見にお答えしていきます。また、先日開催いたしました幼児教育講演会の内容についても少し紹介させていただきます。

ご意見をお寄せいただきました保護者の皆様ありがとうございました。民営化に関わるご意見・ご質問については、引き続きお受けしていきますので、保育園を通じてお寄せください。

保護者の方々から寄せられたご意見(紙面の都合上、意見は抜粋・要約での掲載です)

説明会等を休日に開催いただいておりますが、保育園の保護者は、興味がなくて参加しないのではなく、普段仕事に多忙で、休日は子どもと過ごす時間を大切にしたいからという方も多いと思います。

また、ホームページや民営化通信などで情報発信されているので、情報を得られるのも要因だと思っています。

対象園ではない保護者としては、ガイドラインができ、民営化対象園が決まったことで関心が薄れていることもあると思います。

保護者から休日の説明会開催要望があるのでしょうか。



国立市

ご意見のとおり、休日はできる限りお子様と過ごしたいと思う保護者の方が多いと思います。そのため、市は、民営化通信やこれまでの意見交換会などの会議録を公開したりして、会に参加できなかった方にも情報が行き渡るように努めています。

しかしながら、『保育整備計画』の素案や案ができたときや移管手法を事業団に変更する検討のときなどの節目には、意見交換会を開催し、保護者の方々から意見を伺ってきました。また、保護者役員会にも出席し、お話を続けてまいりました。

今後も、民営化通信による広報と、アンケートによるご意見の把握など参加が難しい保護者の方からの意見についても引き続きお受けしていきたいと考えています。

当初は民営化の取組を市が一方的に進めている感じを受け、不信感をいただいておりますが、ガイドラインの作成や保護者の意見を聴く機会を設けて配慮いただき、大変ありがたく思っております。私はガイドラインについて意見を出し、他の方も関わる中でしっかりしたものが出来たのではないかと思います。

今は、民営化する矢川保育園の保護者を中心に、移行に関するガイドラインに沿って十分に理解を深めて、子どもたちの保育に影響のないように進められるよう願っております。



国立市

市では、『保育整備計画』を策定し、この中で、矢川保育園の民営化にあたっては、子どもたちの保育環境の変化を最小限に抑え、子どもの最善の利益を念頭に入れて進めていくこととしています。

移管は、これまでの議論を踏まえて、国立市が社会福祉事業団を設立し、事業団に矢川保育園の先生を派遣（市の職員でなくなるわけではなく公務員のまま）することで変わらない体制で保育を行い、保育内容の継承を基本としています。

また、矢川保育園の新園舎についても、平成30年度に施設整備基本計画を策定します。現在、市議会に係る予算の審議中です。計画策定に当たっては、ワークショップなど保護者の意見を聴く機会を設け、可能なものは反映していきたいと考えています。実施が決まりましたら、お知らせさせていただきますので、お時間を割いて参加いただけたら幸いです。

メリット・デメリットが挙げられていますが、私は単純によい保育園・保育士さん（配置転換）がいなくなるのは残念でなりません。国立市として子どもたちの保育、保育士育成で培ってきたものが、一部でもなくなるのは、もったいないと思います。

市として民営化するに至ったプロセス等は理解しましたが、何度ご説明いただいても民営化は反対です。対象園が1園決まっておりますので、これ以上民営化しないように願うばかりです。



国立市

保育園の民営化は、これまで保護者の方をはじめ、市民の方々と意見交換をさせていただいてきました。その際に頂いたご意見を可能な限り反映した形として、社会福祉事業団を市が設立して移管することを『保育整備計画』に集約させていただきました。民営化の取組については進めさせていただきますが、子どもたちの保育環境の変化を最小限に抑えることやこれまでの保育内容を継承していくこととしており、保育士についても派遣によって移管前後で変わらない体制で子どもたちを迎え入れています。

また、今般の社会の状況として、保育園の運営にあたっての基準となる「保育所保育指針」において、保育園での保育に加えて、保護者支援や地域の子育て支援の積極的な取組や、発達に課題を抱える子どもへの対応なども必要となっています。そのため、他の子ども関係の部署で経験したことを保育園に持ち帰ることによって、保育の質の向上にもつながる循環が生まれると考えており、これまで培ってきたものを失うのではなく、活かしより良いものとしていきたいと考えています。

2園目以降の民営化については、保育審議会での議論を踏まえ、1園目（矢川保育園）の効果検証を行った後の検討としておりますので、具体化されたものはありません。今後、検討を進めることとなった場合には、保護者からのご意見を伺う機会を設けて丁寧な対応をしていきます。

- ・保護者で過度な利便性を求める方もおられますが、子どもにとってどうなのかと思います。
- ・保育サービスはお金がかかって当然だと思います。
- ・日曜日の保育運営に関しても、運営維持コストがかなりかかるのではないかと思います。
- ・国立市は保育料に関して、高いと思っていません。同じ世帯収入で他県のある地域では乳児クラスでプラス3万円という所もあり、国立市の保育サービスを充実させるためには、多少の値上げも検討すべきではないかと思います。
- ・延長料金について、月額での保育料金が低いと感じます。人件費・維持費が一番かかる時間であるので、多少値上げしてもよいのではないのでしょうか。
- ・値上げには反対される方もいると思いますが、質の良い保育を維持していくためには必要ではないかと思います。



国立市

乳幼児期に大人から丁寧なかかわりを受け続けることによって、子どもは大人との愛着や信頼といった結びつきを得て、自分は受入れてもらえる存在価値のある人間という自己肯定感を持つことができます。そうした自己肯定感が、粘り強く困難を乗り越える忍耐力、自分はできるといった自信、人とつながる社会性などを身に付けることにつながると言われています。

そのため、保育園の運営についても、子どもの最善の利益を念頭にいたサービス提供を行う必要があると考えておりますので、例えば、利用時間の長時間延長など保育サービスの拡充については慎重な検討が必要であると考えています。

日曜日の保育園の利用ニーズについては、全体としては多くはありませんが、日曜日が勤務日の方もおられますので、費用対効果など総合的に検討を行っていく必要があると考えております。

保育料について、改定する場合は、有識者などの意見等が必要となります。ご意見いただいている内容について、国立市の現状は、所得の高い階層において、他市と比較して低額となっている状況にあります。改定などについては、平成30(2018)年度に検討を始める予定です。

(お子さんが通う保育園が民営化対象となったときのために転園を検討して他園の見学等の活動をした感想として)

転園を考え活動した結果、今通っている公立保育園の良さをさらに実感することになりました。素晴らしい保育園を運営されている国立市にも改めて感謝しております。



国立市

保護者の方々の考え方も様々あり、保育園は保護者が自ら選択し入所しておりますので、保育の実施主体である市は、公立・私立どちらが良いということはありません。市内の各園で行われている保育すべてが国立市の保育ですので、これまで以上に公私立の連携により、市内全体の保育の質を向上させていくことが大切であると考えております。

平成29年度からは、「保育園なるほどフェア」を開催し、市内の保育施設が一堂に会して、入園前に保育園での様子を聞くことができる催しも開始したところです。今後は更に、保育園職員の研修の充実など様々な取組を通じて市全体の保育の向上を目指していきます。

園舎建設について

- ①新園舎の建設を早められないのか。また、これ以上延びるということはないのか。
- ②具体的な新園舎の住所（矢川プラスとは聞いておりますが、具体的にどこなのかは聞いていない。送り迎えの関係もあるので知っておきたい。）
- ③新園舎の設備に関しての要望は聞いてもらえるのか。



国立市

①について、矢川保育園の新園舎の予定地は、都営矢川北アパートがある東京都の用地となります。現在、都営矢川北アパートの建替事業が進んできておりますが、新園舎の予定エリアについては、平成31年中の更地化となっています。新園舎の建設工事に約1年を見込みますので、移転の時期は、早めることは難しく、これまでどおりの平成33年4月1日と考えているところです。

②について、新園舎の所在地ですが、旧矢川保育園がありました場所（富士見台4丁目17番地の1）と大きく変わることはありません。「（仮称）矢川プラスの土地活用計画の素案」を市のホームページでお示しておりますので、ご覧ください。この計画素案は、都用地をどのように活用するのか、どのような機能を入れた施設とするかを示す計画となります。

なお、計画素案の中に記載された図はイメージですので、園舎の具体的な内容について決定しているものではありません。

③について、矢川保育園の新園舎建設スケジュールは以下のとおりです。

- 平成30(2018)年度・矢川保育園施設整備基本計画の策定
- 平成31(2019)年度に園舎の設計
- 平成32(2020)年度に建設工事

具体的にどのような保育園にしていくかは、まずは平成30(2018)年度の基本計画で示していくことになりますので、保育園の先生方や保護者の方々とワークショップ形式で様々な意見を出し合いながら作り上げていきたいと考えています。多くの保護者の声をお聴かせいただきたいので、アンケート方式でご意見を出していただくことも考えています。

ただし、建築基準法や児童福祉法などの法令や基準、また、予算といった要素もありますので、お出しいただいた要望すべてを必ず反映できるわけではないことはご理解いただきたいと思います。



（仮）矢川プラスの活用計画素案はこちらのQRコードを読み込んでいただいてもご覧頂くことができます。（市HPへ）

幼児教育講演会の開催報告 (平成30年2月5日@くにたち市民芸術小ホール)

市報や子育てアプリ、チラシなどで告知しておりました幼児教育講演会ですが、平成30年2月5日に、くにたち市民芸術小ホールにおいて、白梅学園大学学長の汐見稔幸先生を講師にお迎えし、「いよいよ「幼児教育こそが教育の基本」という時代に！」と題して開催しました。

当日は、150名の保育園、幼稚園、小学校などの先生方をはじめ、79名の市民の方が参加されたほか、市議会議員や市の理事者及び職員も34名が参加しました。

講演会で先生がお話された内容を少しご紹介します。

講演会は、永見市長のあいさつの後、汐見先生が登壇され、講演の冒頭において、今日の講演のテーマは、簡単に言うと、世界中の国で、皆さんが子どものころに受けてきた教育とはかなり違う教育が始まっているということを知っていただきたいということと話され、以下のようなお話をされました。

教育を変えなければいけないと言われている理由は、1つが21世紀には貧富の拡大の問題や環境問題など人間がまだ解決策を持っていないけれども、このまあいと確実にとんでもないことになってしまうという問題を解決する新しい知性を必要としているということ。もう1つは、A Iのように人間の進んでいる方向が、人間がこれまで大事にしてきたことを特に必要としない方向に向いているということにあります。

そして、21世紀は、『わかった』ということと『行動する』ことをそのままつなげられるような知性を育てなければいけません。現実の変化がものすごく早く、次から次へと新たな問題が発生する社会では、その都度その都度、問題を深くつかんで、適切な解をつくり出す発想力、そのための協働力、提案力、議論力、コミュニケーション力と、決めたことを実践に移す実行力等が大切であり、あらゆる教育の場をこうした力を育てる場に変えていくということを世界中が進めています。

また、自分で考えることが好きだ、自分たちで創造していくことが好きだ、人とかかわることが好きだ、人の役に立つことが好きだということを、教育の中で育てていくことがとても大きなテーマに

なっており、特に幼児教育では大きな目標になっていくものです。これらのことは、中高生になってから始めては間に合わないもので、幼い頃にそういうことを体で覚えていくことが大事です。人間の性格、心をしっかり育てていくためには、教育の出発点を乳幼児期にまでおろしていかなければならないという流れになってきています。

そして、世界中が幼児教育からとなっていく潮流の中で、特に「非認知能力」というものの大事さが見つけられたことが大きい。「非認知能力」には3つの柱があり、1つは、目標を立てたら粘り強くできるまで追求すること。2つは、共感能力がとても高い、コミュニケーション能力が高いということ。3つは、情動、感情をコントロールするという。これらが人生を成功させる大きな理由だとわかってきています。この非認知能力はIQに代表される認知能力と違って、1回身につけると一生続くものであるとともに、乳幼児期に育っていくものである。非認知能力を高める教育は早く始めるほうが効果が高く、総体の費用もかからないことがわかってきました。

講演の最後には、子どもの育ちに大切な乳幼児期の教育を進めていくために、国立市に期待することとして様々な提案をいただき、講演会全体を通じて、幼児教育の重要性と幼児教育環境の向上に向けて実践していくために重要となるポイントを多数お話いただきました。



汐見稔幸先生の著作のご紹介

2017年告示新指針・要領からのメッセージ
『さあ、子どもたちの「未来」を話ませんか』(小学館)

保育所保育指針の改定の背景や内容、込められた想い、指針から読み解く今後の保育園・幼稚園・認定こども園でのポイントなどについてお書きになられています。今回の講演会でお話された内容にも触れられ、ご家庭での保育の参考にもなると思いますので、ご興味ある方はお手にとってみてください。

